

2022年度 Aセメスター「物質科学概論」講義日程

テーマ：何が分かるか物質科学研究

趣 旨：

最先端の物質科学研究では、何のためにその研究が行われているのか一見して理解し難いものが多くある。しかし、それぞれの研究には明確な目的があり、その中から物質科学の新しい進展が生まれる。物質科学概論では、物質基礎科学コースの研究者が行っている研究について、その目的を噛み砕いて説明し、研究内容やその面白さを伝える。

時 限：月曜5限

場 所：16-109（10月3日の第1回のみオンライン実施 アドレスはITC-LMS参照のこと それ以外は対面実施）

日 程

	月 日	講 師	タ イ ト ル
1	10/3(月)	松田恭幸	物質ってどうして存在するの？（オンライン実施）
2	10/17(月)	豊田太郎	生命起源における脂質膜の役割
3	10/24(月)	野口篤史	量子技術でできること
4	10/31(月)	寺尾潤	目に見えない分子を自在に組み上げる分子建築学
5	11/7(月)	堀田知佐	量子エンタングルメント
6	11/14(月)	奥野将成	非線形分光法でわかってきた分子構造
7	11/21(月)	塩見雄毅	低温強磁場下の物性
8	12/5(月)	小林広和	縁の下から社会を支える触媒
9	12/12(月)	深津晋	測定・計測するだけで一発逆転、はあり得るのか？
10	12/19(月)	桐谷乃輔	電子物理を創る超分子化学
11	12/26(月)	鳥井寿夫	原子時計で何が分かるか？—GPSから暗黒物質探索まで
12	1/16(月)	堀内新之介	ナノ空間に分子を閉じ込める —分子を外界から隔離すると分かること—
—	1/23(月)	予備日	—

成績評価の方法：

出席状況およびレポートによる。

各講師が出題する課題のうち3つ以上を選択してレポートを提出する。提出期限は各教員が定める。

提出レポート数が3に満たない場合は単位認定の対象とならない。

提出レポート数が4以上の場合、提出回数に応じて加点する。